

# NPO 法人エクスプローラー北海道 企画調査

共催 苫小牧市防犯協会

## とまこまい・子どもの安全に関する意識調査

2006年6月

「子どもたちへの意識づけの必要性が確認できます」

立正大学 文学部 社会学科 教授  
小宮 信夫

NPO 法人 エクスプローラー北海道

TEL0144-52-5110 Fax 0144-53-5335

〒059-1364 北海道苫小牧市沼ノ端 211-5

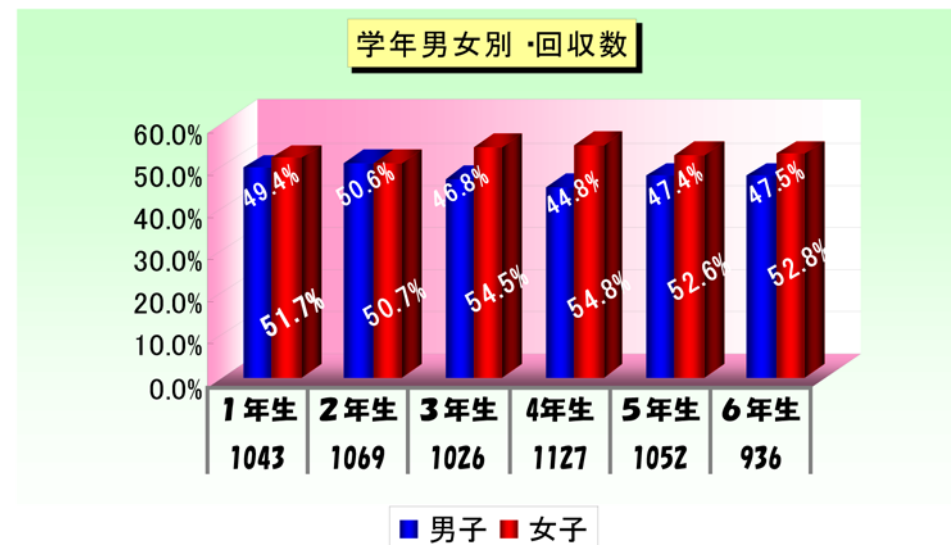
e-mail: [explorerhokkaido1@extra.ocn.ne.jp](mailto:explorerhokkaido1@extra.ocn.ne.jp)

本レポートは、調査データの一部抜粋です。  
調査データの転載、引用、詳細データをご希望の方は上記までご連絡下さい。

# ◆ 調査概要

- ◆ 調査名：「とまこまい・子どもの安全に関する意識調査」
- ◆ 調査目的：「防犯・安全」に関して、以下の項目について調査、考察。
  - ・子ども自身の「危険」「安全」に関する意識
  - ・子どもたちの防犯意識と危険回避能力
  - ・各家庭における防犯意識
  - ・子どもの生活領域の危険箇所
  - ・防犯対策 など。
- ◆ 調査対象： 苫小牧市 全小学生 1年生～6年生 9,700名  
低学年用と高学年用の2種の調査票
- ◆ 回収： 低学年) 3,172 高学年) 3,115  
(学年・男女別回収数は右表の通り)

	配布数	有効回答数	回収率
小学校低学年	4785	3172	66.30%
小学校高学年	4961	3115	62.80%



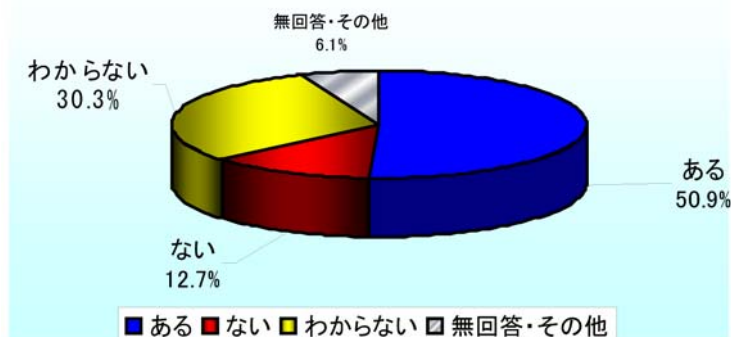
## 調査サマリ

- 登下校時に「2～3人で一緒」と答えた子どもは、全体で約6割
- 防犯フザーを常に携行している子どもは、[低学年 4割]・[高学年 2割]
- フザーの携行のしかたは、「かばんの中・首からぶら下げ」などすぐに取り出せない位置につけている場合も多い
- 通学路上に「子どもSOSの家がある」は、全体の約5割・「わからない」が全体で3割強
- 通学路上でキケンを感じる所が「ない」は、高学年で半数を超える
- 公園のトイレを「使わない」と答えた子どもは、高学年7割
- よく遊ぶ友人宅や公園までの道での危険か所が「ない」と答えた子どもは、高学年 6割強
- 「危険や安全について家族で時々話す」と答えた子どもは、低学年 4.5割弱・高学年 4割
- 「集団下校をしたい」と答えた子どもは、高学年 4割弱

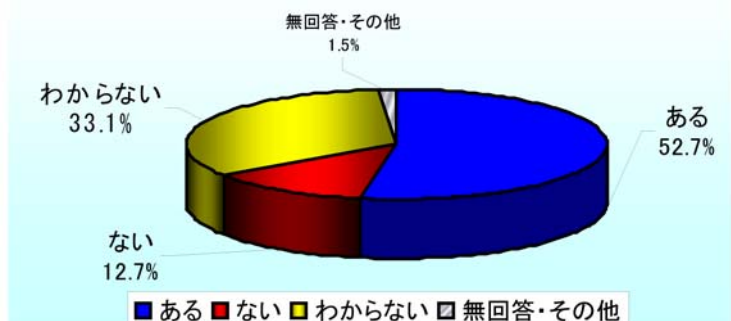
■ 通学時間は1～20分以内が、約7割。

■ 通学路上に「こどもSOSの家がある」と答えた子が約5割、認識していない子が3割以上。

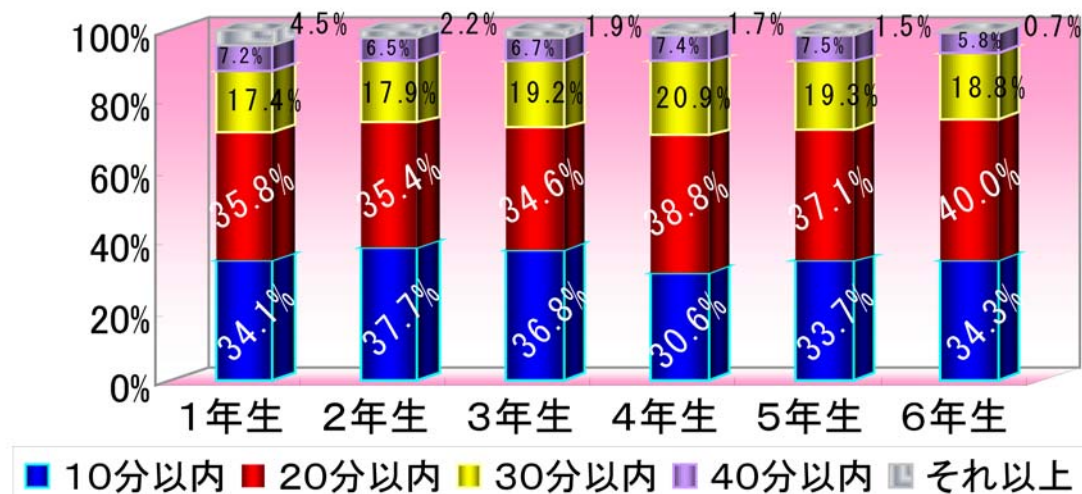
通学路上の子どもSOSの家 低学年



通学路上の子どもSOSの家 高学年



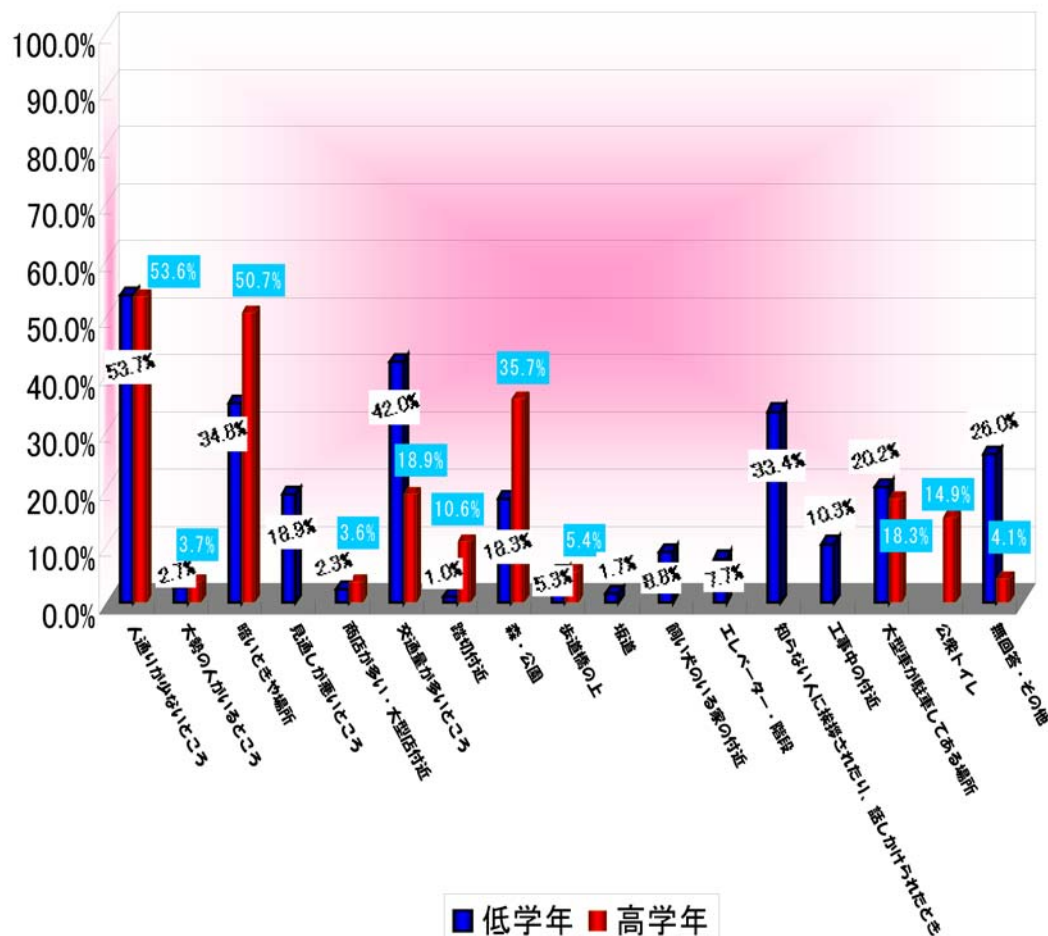
通学時間



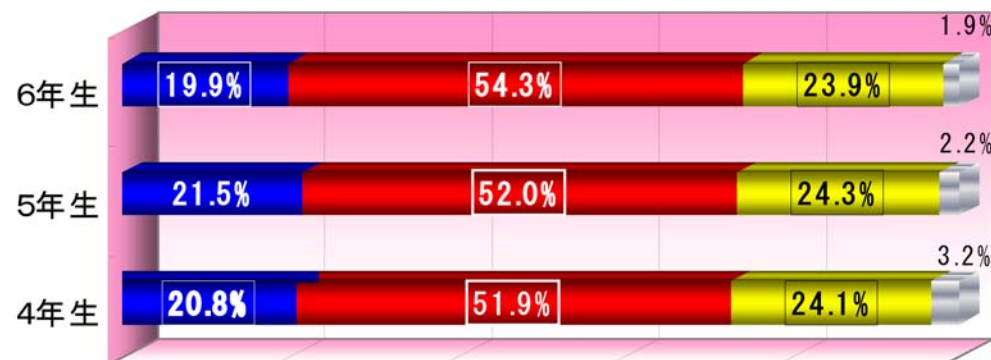
●「通学時間」は、どの全学年において、10分以内と20分以内がそれぞれ約3割を占め、約2割は30分以上であった。  
 ●「子どもSOSの家」は、苫小牧市内におよそ3,000件あるが、通学路上に「ある」と答えた子どもは約5割であったが、「わからないと答えた子どもが[低学年30.3%]、[高学年33.1%]おり、SOSの家を認識していないことがわかる結果となった。  
 ★子どもたちのSOSの家に対する認識を高めるため、周知徹底すると共に、SOSの家の表示方法を再検討する必要があると思われる。

- 通学路上に危険な箇所はない・わからないと感じている子どもが、高学年で7割以上。
- 「人通りが少ないところ」に危険を感じるのは、半数のみに留まっており、「人が大勢いるところ」は、危険を感じていない子どもが多数を占めている。
- 「通学路上で危険を感じる場所」については、「公園や雑木林」が低学年2割・高学年3.5割で、これらのか所危険を感じる子どもが少ないことがわかる。

## 通学路上で危険と感じる場所



## 通学路上に危険か所はあるか

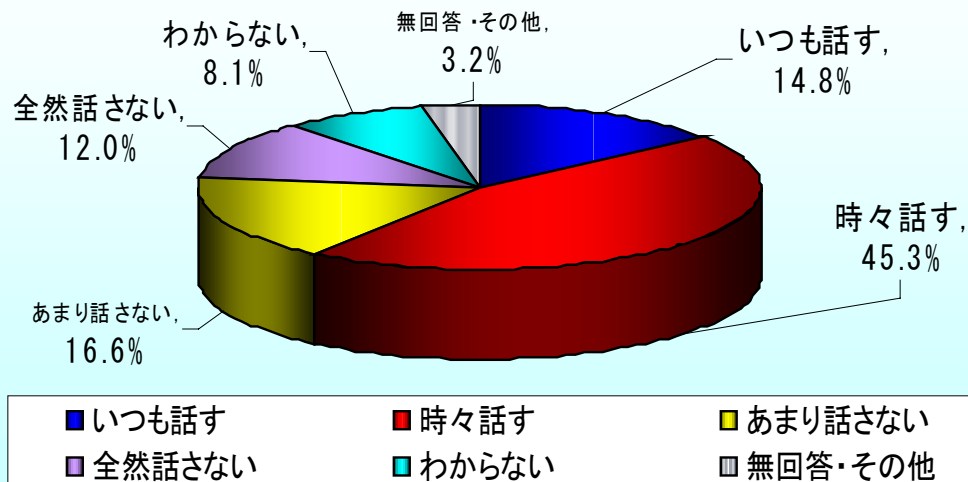


**危険と思うところが「ない」と答えた子どもが半数**

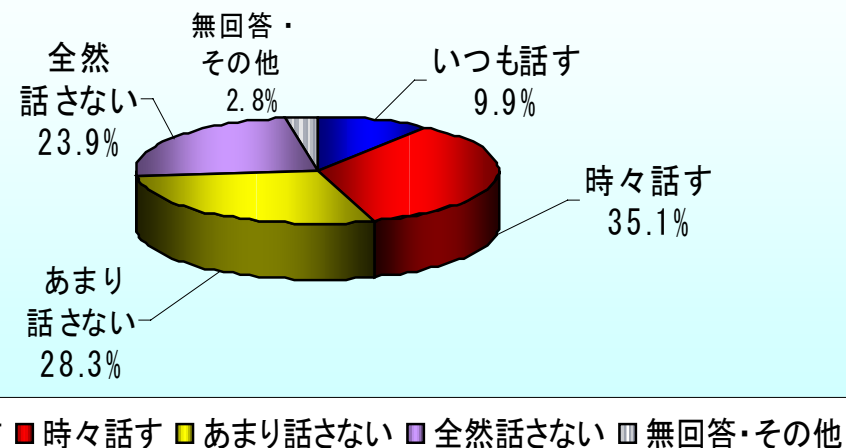
- 「通学路上でキケンと思うところがありますか？」という問いに対して、「ない」が[4年生 51.9%]、[5年生 52.0%]、[6年生 54.3%]であり、「わからない」も含めて7割以上が「キケンを感じていない」ということが分かる結果となった。
- 森や公園をキケンと感じているは、[低学年 18.3%]に止まった。
- 「大勢の人がいるところ」をキケンと感じるは、[低学年 2.7%]、[高学年 3.7%]のみであった。
- ★ 子どもたちは、通学路上は安全と思い込んでいるのではないかとと思われる。時と場合によって、いつもは安全なところも、「キケン」になる場合があるということを認識することが、危険回避能力を上げる第一歩である。

- 「お家の人とキケンやコワイと感じたこと・思うことについて話したことはありますか」という問いに対し、「話す」子どもが低学年6割、高学年5割弱。
- 「全然話さない」が、低学年1割、高学年2割強であった。

家庭における「防犯」や「安全」  
についての話題（低学年）



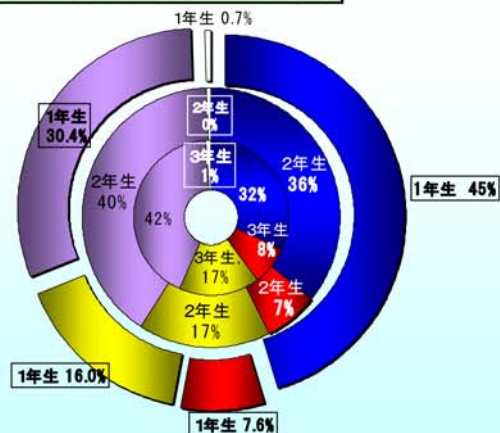
家庭における「防犯」や「安全」  
についての話題（高学年）



- いつも話す [低学年 14.8%]・[高学年 9.9%]、時々話す [低学年 45.3%]・[高学年 35.1%]、あまり話さない [低学年 16.6%]・[高学年 28.3%]、全然話さない [低学年 12%]・[高学年 23.9%]であった。
- ★「全然話さない」は、子どもが話さないのか、親が話さないのかについては不明であるが、どのような小さいキケンやこわさを感じたことについても親子間で常に対話できる状態を作ることが「子どもを守る第一歩」とであると、親たちは認識する必要がある。
- ★少しでも「キケン」や「コワイ」と感じたことを、お家の人に話すことが、犯罪等の被害を未然に防ぐことにつながる。
- ★家庭という単位で防犯を他人事としてではなく、身近な問題として話し合うことで、子どものキケンを回避する第一歩となる。親がまじめに話すことで、自分を守ろうとしているという気持ちが伝わるのではないだろうか。

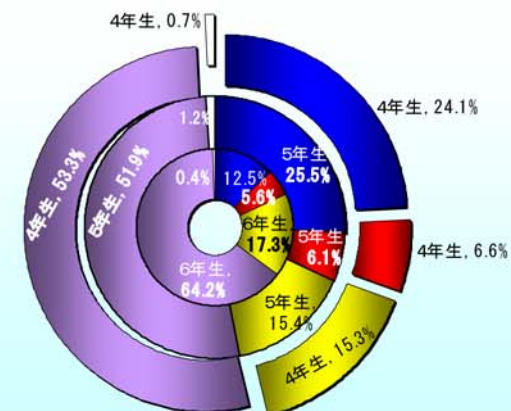
- 「防犯ブザーの所持・携行」について、「通学時必ず携行する」が、低学年約 4 割、高学年約 2 割であった。
- 防犯ブザー自体を持っていない子どもは、低学年約 4 割、高学年 5 割以上であった。
- 防犯ブザーを持っていない子どもの学年別内訳は、1 年生 30.4%、2 年生 40.4%、3 年生 42.3%、4 年生 53.3%、5 年生 51.9%、6 年生 64.2%であった。

通学時の防犯ブザー携行について (低)



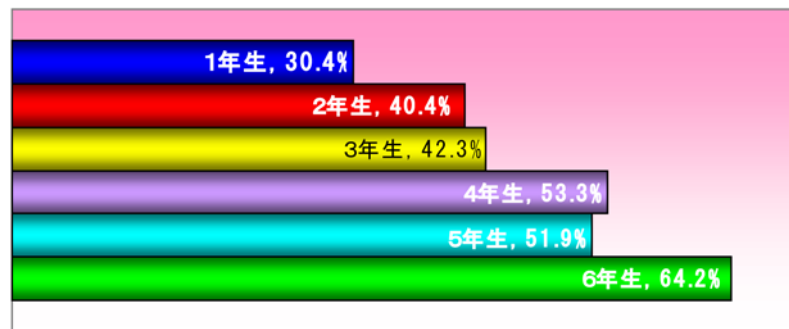
■ 必ず携行する ■ 時々携行する ■ 所持しているが、携行しない ■ 持っていない □ 無回答・その他

通学時の防犯ブザー携行について (高)



■ 必ず携行する ■ 時々携行する ■ 所持しているが、携行しない ■ 持っていない □ 無回答・その他

ブザーを持っていない子ども



■ 1年生 ■ 2年生 ■ 3年生 ■ 4年生 ■ 5年生 ■ 6年生

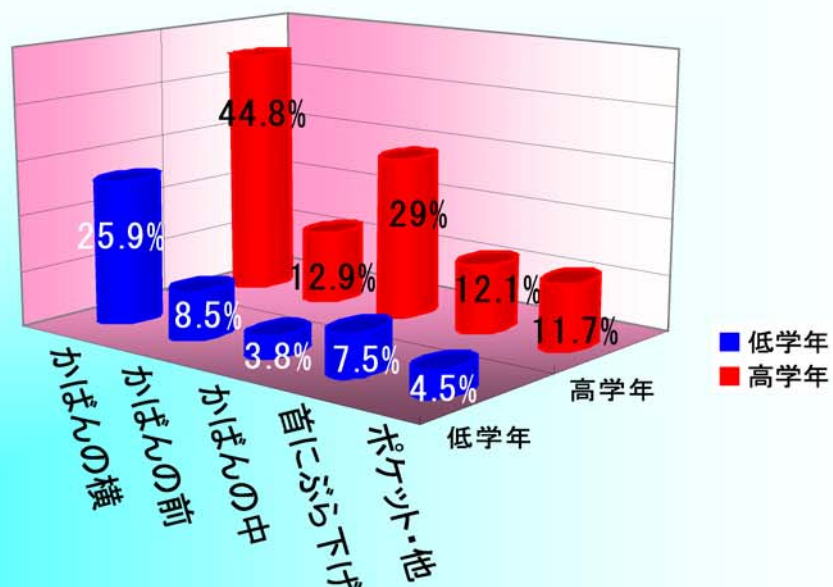
- 「防犯ブザー」を持っていない [低学年 37.2%]、[高学年 55.7%] と、持っていない子どもが多い。
- ★持っていない子どもが、低学年・高学年とも、1.5 割強いることから、『忘れ物』をさせないような家庭や学校での指導と同等の、ブザー携行の徹底が望まれる。
- ★防犯ブザーは、見えるようにつけて、「いつでも持ち歩いている子どもがたちがたくさんいる」とアピールすることが犯罪抑止効果を高め、またいざという時に役に立つものであることを大人も子どもも認識する必要があり、ブザーを持っていない子どもに対しての早急な対応が望まれる。
- ★防犯ブザーを持っていない 6 年生は 64.2%いるが、中学入学後も防犯ブザーの携行が望まれるため、ブザー携行を促す必要があると考える。

# ◆ 防犯ブザー携行のしかたについて

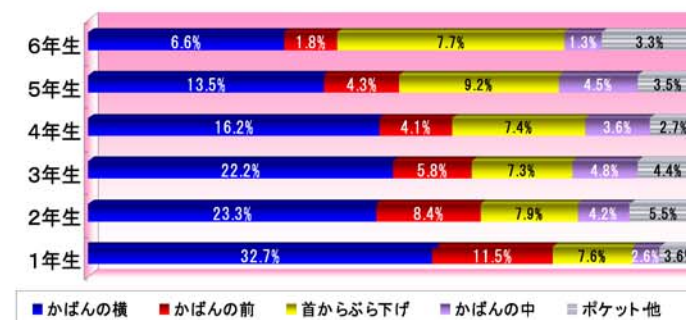
NPO EXplorer Hokkaido Report #001[とまこまい子どもの安全に関する意識調査]

- 防犯ブザーの携行のしかたは、かばんの横が低学年3割・高学年4割以上、かばんの前が低学年1割未満・高学年1割であった。
- 「かばんの中」が低学年1割未満・高学年3割であり、いざという時にすぐに取り出せる位置ではないか所に携行している子どもがいることがわかる結果となった。
- 学年があがるにつれて、ブザーの所持率が下がり、所持していても防犯ブザーを見えないところにつける傾向があることが分かった。

## 防犯ブザー携行のしかた



## 防犯ブザー携行学年別

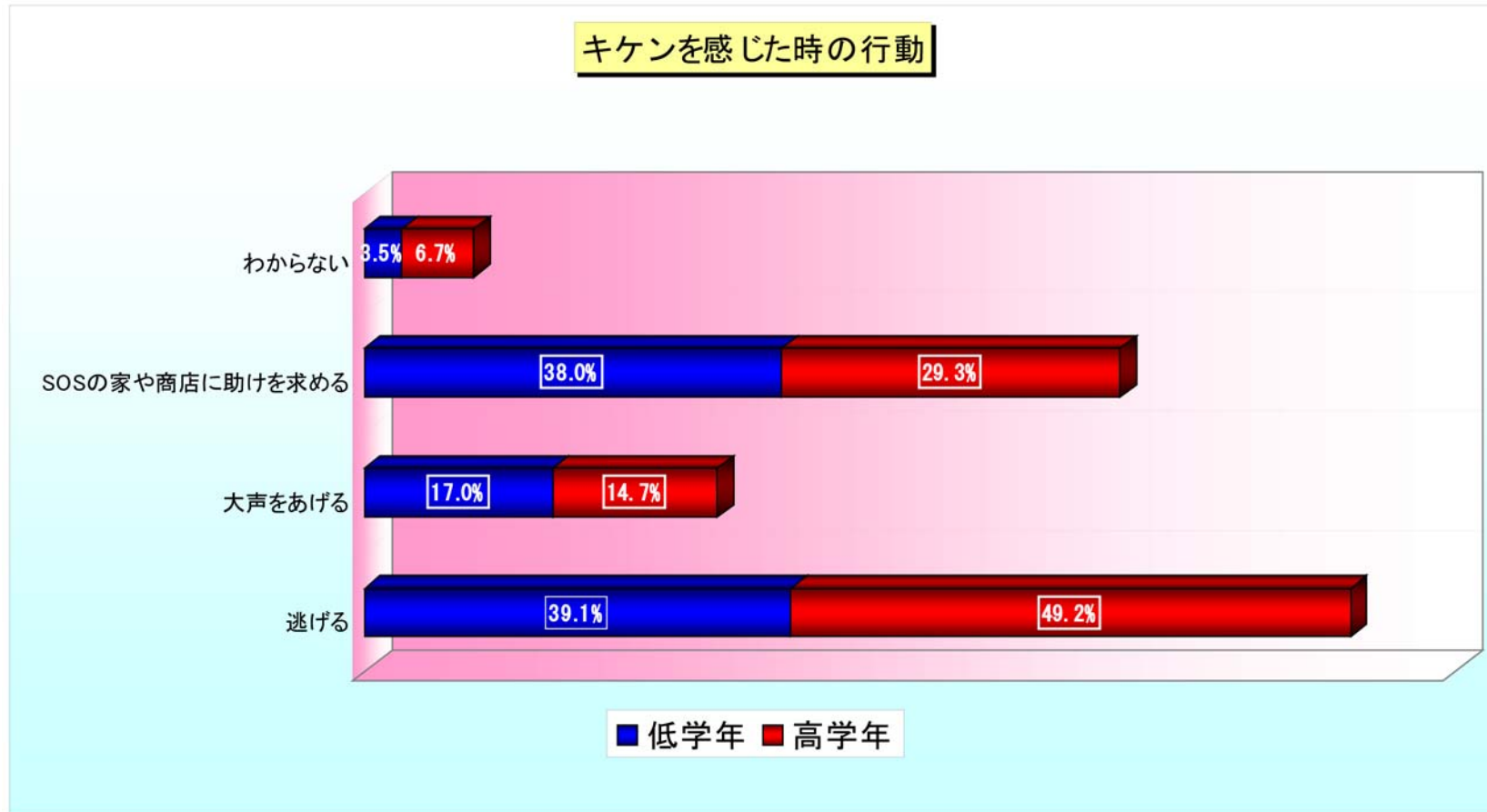


**かばんの横や前にブザーをつけなくなる傾向が、学年があがるにつれ見られる。ランドセル通学をやめてしまうことに関係するのではないか。**

- 学年があがるにつれ、見えるところに防犯ブザーをつけない傾向が見られる。
- ブザーを持っていても、いざという時にすぐにブザーに手が届かない[かばんの中(低) 8.5%/高) 29%]、[ポケットの中(低) 4.5%/高) 11.7%]と、高学年のブザー所持者の4割近くを占めることから、「防犯ブザーを持ち歩くのが恥ずかしい」等、年齢が上がるにつれての心理的な要素が推察できる。
- ★ 犯罪が自分の身に起こりそうな時や、犯罪が起こりそうな現場に立ち会ったときに、ブザーをすぐにならすことで被害を防ぐこともできるということを徹底して指導する必要があると思われる。
- ★ 「かばんの横」につけている子どもが1年生で32.7%だが、ランドセルの横にいざというときに手が届くか、など各家庭や学校で再確認が必要である。また、紐を長くすることで、エレベーターなどに引っかかり、危険を伴うことも配慮し、携行箇所を考慮しなくてはならないと考える。
- ★ 「首からぶら下げる」や「ポケット・その他」等は、ブザーの携行を忘れてしまうことが考えられる。
- ★ 「首からぶら下げ」は、緊急時でなくともブザーの紐が首に巻きつけられ死亡事故に至った例もあることから、大人たちが責任を持って止めさせなくてはならない。

## ◆ 「キケン」を感じたときの行動について

- 『通学路上で「キケン」を感じた場合、どのようにすると思うか』という問に対して、低学年4割、高学年の5割が「逃げる」と答えた。
- 「SOSの家やお店に助けを求める」と答えた子どもは、約3割であった。



●通学路上でキケンを感じた場合、逃げる [低学年 39.1%]・[高学年 49.2%]、大声をあげる [低学年 17.0%]・[高学年 14.7%]、助けをもとめる [低学年 38.3%]・[高学年 29.3%]、わからない [低学年 3.5%]・[高学年 6.7%]であった。

★「逃げる」場合、大声をあげながら逃げる、防犯ブザーをならしながら逃げる、SOSの家や近所の人に逃げる、など複合的な対処ができるよう、指導の徹底が必要と思われる。

★SOSの家を認識している子どもが5割程度（当調査結果）から、緊急時に助けを求めることができるかどうか、緊急時に一度も訪ねたことがないSOSに逃げ込むことができるのか、など子ども自身に一度考えさせる必要があると思われる。

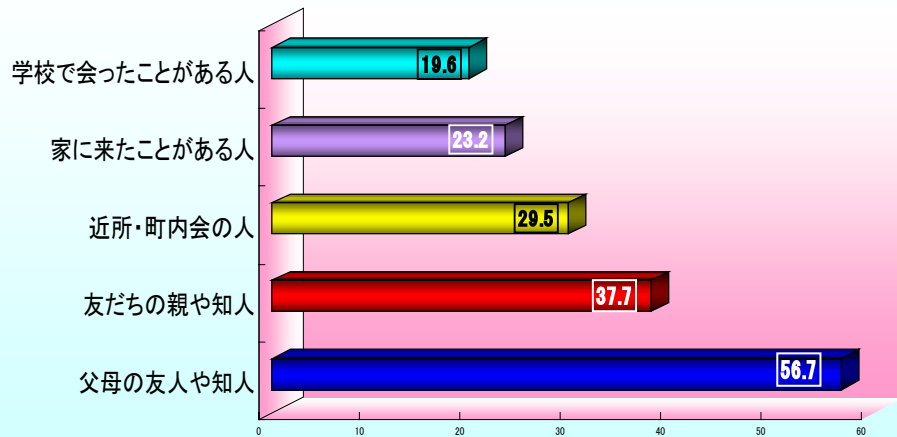


# ◆ 気をつけなければならない大人と、気をつけなくてもよい大人の認識

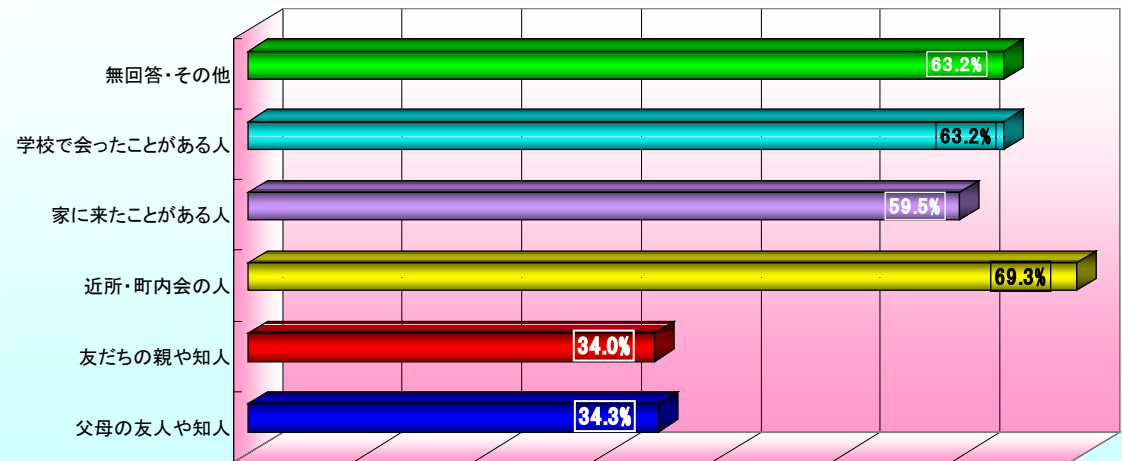
NPO Explorer Hokkaido Report #001[とまこまい子どもの安全に関する意識調査]

- 低学年が「気をつけなくてもよい」と思う大人は、父母の友人知人と友だちの親や知人で、5割を超えた。
- 低学年は、家に来たことがある人や学校で会ったことがある人についても、2割以上は気をつけなくてもよいと感じている。
- 高学年の「知らない人の車に乗ってはいけない、と言う場合の『知らない人』とは」の間に、顔を知っているだけの人は4割を超えた。
- 親子で「知っている人」「知らない人」について話し合い、その境界線（我が家ルール）を親が明確に子どもに示すことが求められる。

気をつけなくてもいいと思う大人(低学年)



「知らない人」に当てはまる大人(高学年)

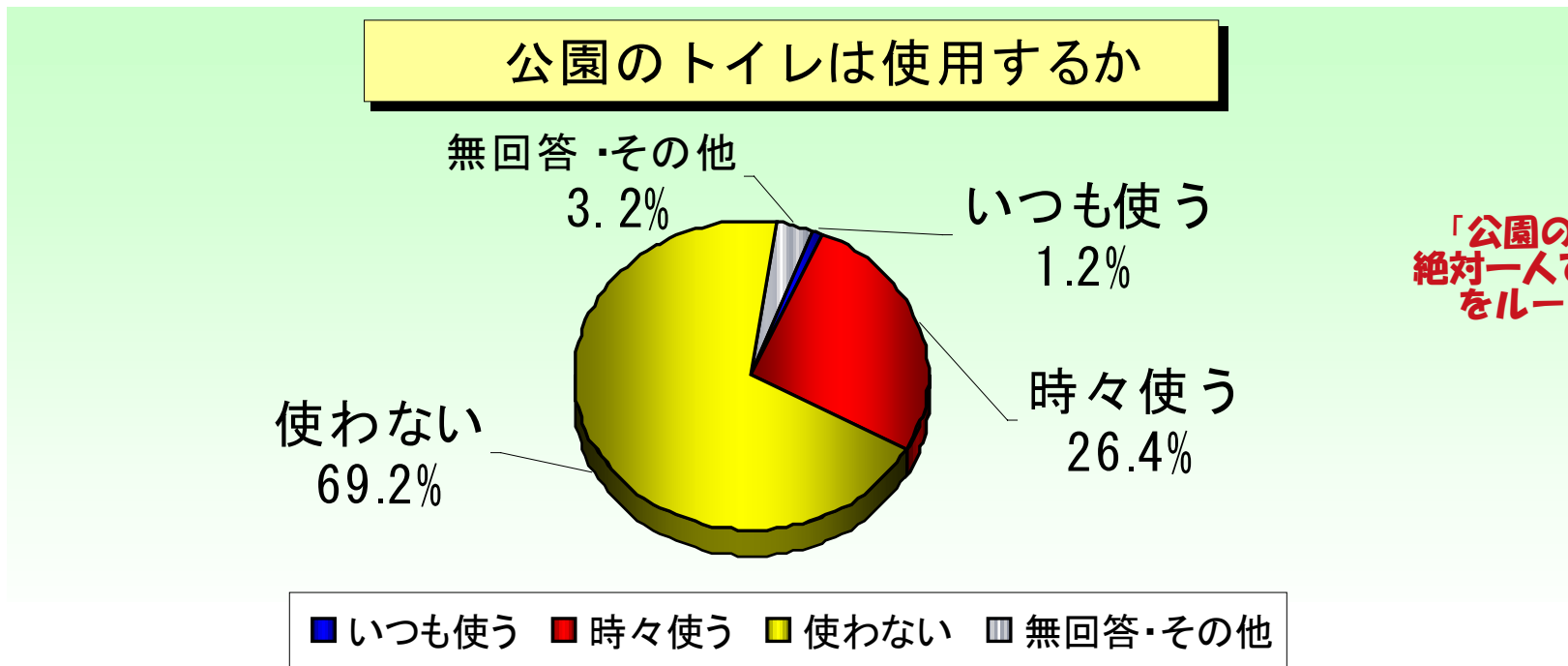


## 親子で決めよう「我が家ルール」

- 「気をつけなくてもいいと思う大人」については、低学年[父母の友人・知人 56.7%], [家に来たことがある人 23.2%], [学校で会ったことがある人 19.6%]と、子どもは、自分の領域で顔を見たことがある人については、「気をつけなくてもよい」と思っていることが伺える。
- 高学年への質問は、「知らない人の車に乗ってはいけないよ、と言う場合の知らない人とは？」で、[父母の知人][友達の家族や知人]がどちらも34%、[近隣住民・町内会の人 69.3%], [家に来たことがある人 59.5%], [学校で会ったことがある人 63.2%]で、かなり警戒心を持っていることが分かる。
- ★「友だちの親や知人」について、子どもはよく知っていても親同士の面識がない場合も多くあり得る。親子間はもちろん、子どもが親しい友だちの親たちと連携を深めるために、親同士もコミュニケーションを図ることが望まれる。
- ★同様に近隣住民や町内会の人々と、まずは親が積極的に関わることで、さらに安全な地域社会の形成へ土台となり、子どもたちが安心して過ごすことができるまちとなるであろう。
- ★他者を全く信頼しない社会、ますます希薄な人間関係しか築けない世の中になってしまうことは差別化にもつながる。「危険な人」ではなくて、「危険な時と場所」に着目し、犯罪の機会を与えないようなまちづくりの取り組みが求められている。

■「公園のトイレは使いますか」の間に、使わないが7割であった。

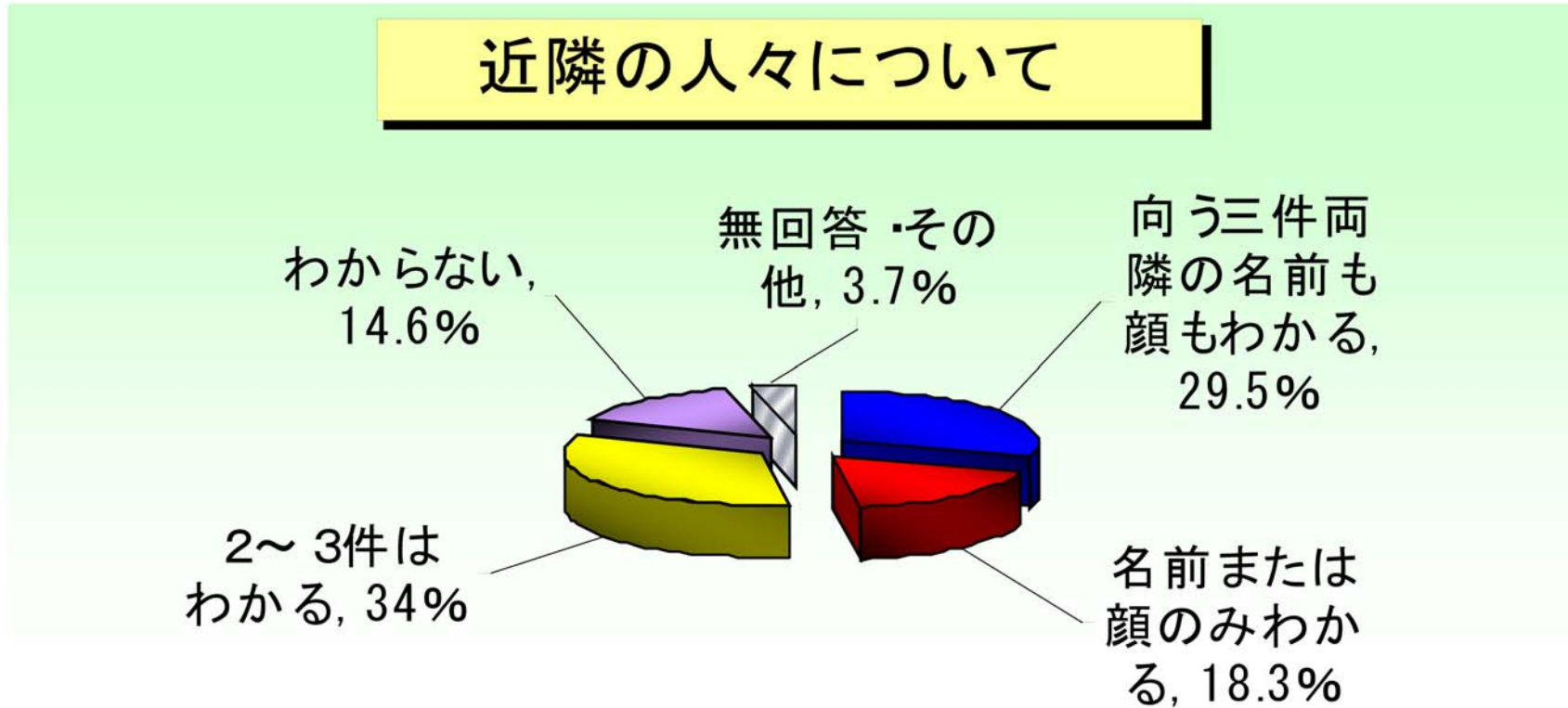
■誰でも入りやすく、見えにくいという点では、大型店のトイレも同様に考える必要がある。



- 公園のトイレは、「誰もが利用でき・見えにくく・入りやすい」の典型であり犯罪の温床となりやすい。[いつも使う 1.2%]、[時々使う 26.4%]の子どもたちもいることから、公園のトイレ、同様に大型店のトイレには決して一人では行かないことを徹底して教える必要がある。
- 苫小牧市内の公園の76.2%\*にトイレの設置があるが、[公園のトイレを使用しない 69.2%]であることから、子どもたちには公園のトイレはあまり必要性がないと思われる。
- ★公園にトイレがあることで、普段その公園を利用しない人々なども公園に入りやすくなることが考えられるため、公園トイレの必要性を再検討することを求めている。

\* 苫小牧市都市建設部緑地公園課公園維持係による

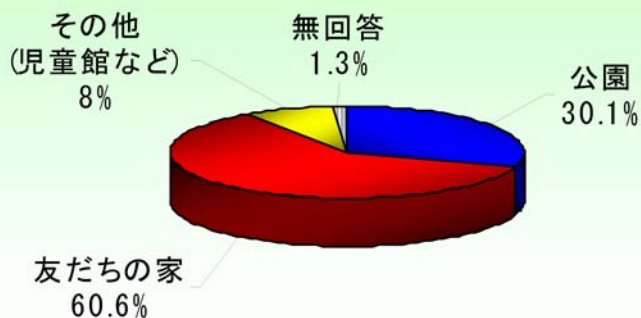
■「自分の家から近い近所の人の名前や顔をよく知っていますか」との問いに、両隣と向いの家など5件くらいわかるが、3割。



- [向こう3軒両隣の名前も顔もわかる 29.5%]、[名前または顔のみ分かる 18.3%]、[2~3軒わかる 34%]、[わからない 14.6%]であった。
- ★自宅近辺や、在宅時でも危険な状況になることもあるため、いざという時に助けを求めることができるよう、ご近所づきあいといった古い言葉をもう一度吟味し、子どもたちの安全のために意味を再構築する必要があるであろう。
- ★子どもだけではなく、大人たちも近隣住民と親しく接し、自分たちが住む地域全体の安全性を高め、地域力をあげる努力が必要と考えられる。
- ★子どもが被害者になる事件には、顔見知りや近隣の住民が加害者という例もある中、「信頼できる人が周りに多くいる、大好きな人が多く住んでいる、自分たちを見守る温かい目がある」という地域社会の形成を早急に取り組み、まずは、子どもを持つ親たちから地域へ、そして子どもたちへとアプローチしていくことが、地域力の強いまちを形成する一歩となる。

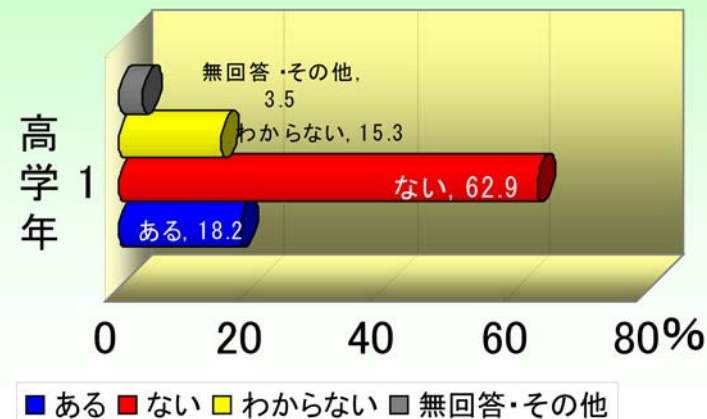
- 「自宅以外でよく遊ぶ場所はどこですか」の間に、公園が3割、友人宅が6割を占めた。
- 「友だちの家や公園などに遊びに行く途中でこわいと持ったり、キケンと感じたことはありますか」の間に、「ない」が6割を占めた。
- 公園に遊びに行くとき、一人で行くことがある子どもが2割いることがわかった。

## 自宅以外でよく遊ぶ場所



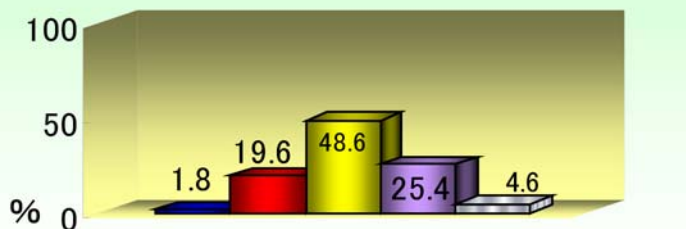
■公園 ■友だちの家 ■その他(児童館など) ■無回答

## 自宅から友人宅や公園までの間で危険と思われる箇所の有無



■ある ■ない ■わからない ■無回答・その他

## 公園に遊びに行くとき(高学年)



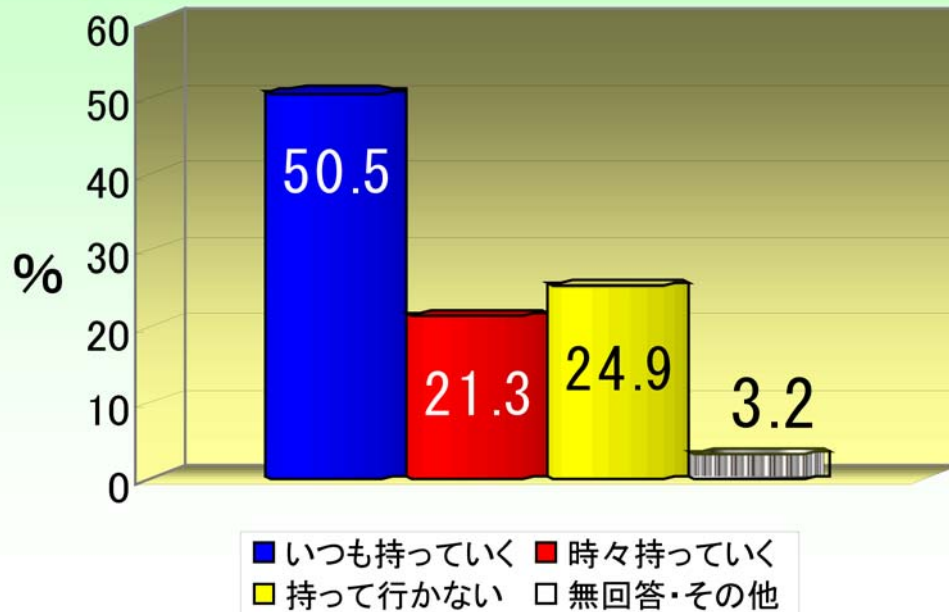
■いつも一人で ■時々一人で ■いつも友達と ■公園では遊ばない ■無回答・その他

- 子どもたちがよく遊ぶ場所として、[公園 30.1%]、[友だちの家 60.6%]であった。
- 友だちの家で遊ぶ子どもが60.6%いることから、あまり外で遊ばない傾向が伺える。
- よく遊ぶ場所の「その他」は、児童館、小学校のグラウンドなどであった。
- よく遊ぶ公園や友だちの家までに危険と思われるか所が、[ある 18.2%]、[ない 62.9%]で、[わからない 15.3%]であり、危険を感じていない子どもが多いことが示される結果となった。
- 公園に遊びに行くときに、[いつも一人で行く 1.8%]、[時々一人で行く 19.6%]であり、[いつも友達と行く 48.6%]、[公園で遊ばない 25.4%]であったことから、友達と行くので、家から公園までの間に危険を感じていない子どもが多いと考察する。
- ★誰でも入りやすく外から見えにくい公園が遊び場の場合は、慣れ親しんでいる場であっても危険があることを教えるなければならない。また、その公園近隣のSOSの家や商店など、助けを求められる場所を確認しておく必要がある。

■「学校へ鍵を持っていきますか」の間に、いつも持っていく5割、時々持っていく2割、持って行かない2割強であった。

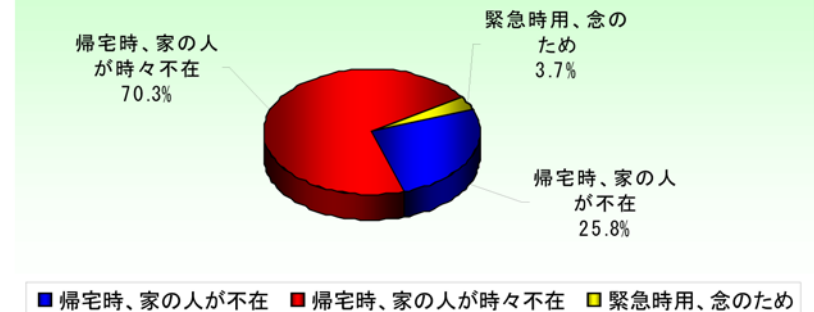
■鍵を持っていく理由として、帰宅時に時々家の人不在が7割を占めた。

## 通学時の自宅の鍵の携行について



**家族が不在でも、大きな声で「ただいま」が犯罪抑止になる**

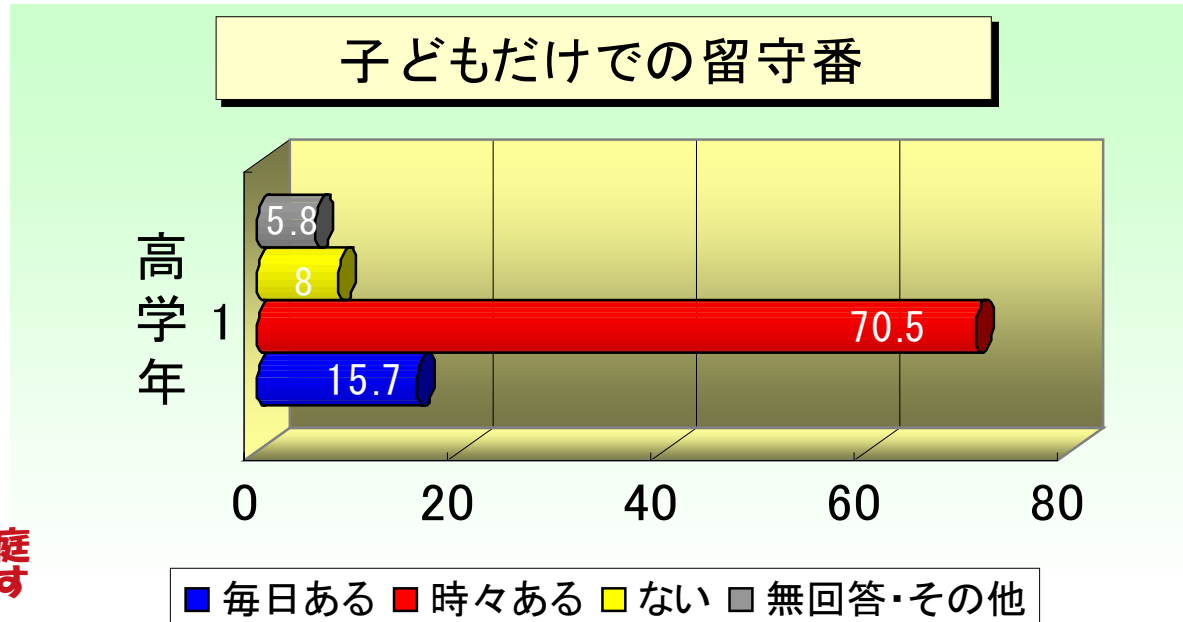
## 鍵を携行する理由



- 学校へ家の鍵を、[いつも持っていく 50.5%]、[時々持っていく 21.3%]、[持っていかない 24.9%]であった。
- 鍵を持っていく理由として、[帰宅時（下校後）、家に誰もいない 25.8%]、[時々いないことがある 70.3%]、[緊急時用、念のため 3.7%]であり、帰宅確認をする大人が常にいない家庭が2.6割いることが分かる。
- ★鍵を持ち歩く場合は、「他人に決して見せない」、「家の玄関を開けているところを誰かに見られないようにする」などの指導の強化が必要であると考える。
- ★帰宅確認をすることができないことがある家庭は、特に近隣住民との信頼関係を築き、子どもを見守る地域の目を増やす努力が必要であると同時に学校との連携も深めなくてはならないことを強調したい。
- ★家の人不在でも、自分で鍵を開けても、常に「ただいま」と大声でさけび、また家に入ったらずぐに鍵を閉めることを家庭や学校において指導することが求められる。

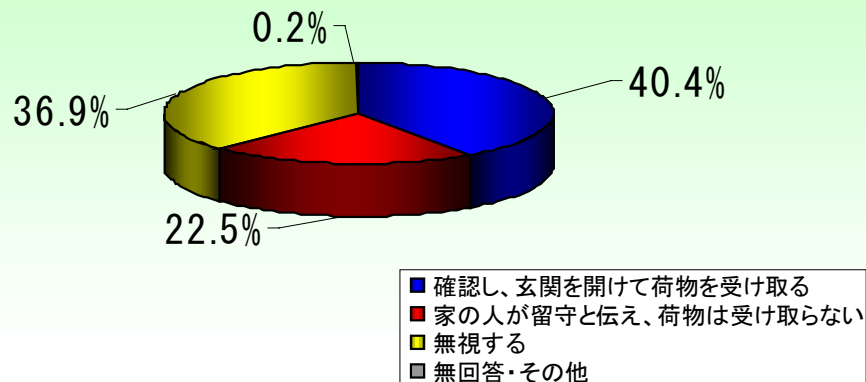
■「子どもだけで留守番をすることがありますか」の問に、時々あるが7割を占めた。

■留守番をしている時に、荷物等が届いた際の対応について、荷物を受け取るが4割、荷物を受け取らないが大人がいないことを伝えるが2割を超える。



**留守番をするときの各家庭での取り決めに明確に示すことが求められる**

留守番中の宅配への対応について  
質問: 玄関チャイムがなり、荷物が届いた場合の対応は?



- 子どもだけで留守番をすることが、[ある 15.7%]、[時々ある 70.5%]、[ない 8%]であった。
- 留守番をしている時に宅配等の配達があった場合の対応については、[玄関を開けて荷物を受け取る 40.4%]、[大人が不在であることを伝え荷物を受け取らない 22.5%]、[無視する 36.9%]であった。
- ★大人が不在だということが、他人に分からないようにするために、各家庭において子どもと共通の取り決めを持つ必要があると考える。
- ★宅配便を装った不審者が玄関を開けた途端に、家に侵入する例があることから、荷物については「受け取らない」を基本として、また玄関に出てしまった際にも「お母さんは今忙しくて手が離せないそうなので、〇時に来てください」などとドアチェーンをかけたまま又は、インターフォン越しに伝えるように教えることが求められる。
- ★留守番中の電話の出方についても、各家庭での共通の取り決めを持つことが望まれる。

- 普段、買い物は誰とよく行きますかの間に、「いつも家族と一緒に行く」が8割以上。一人で行くことがあるが1割程度。
- スーパーやお店などで、キケンと感じたことはありますかの間に、「ある」が1割弱、「ない」が7割。

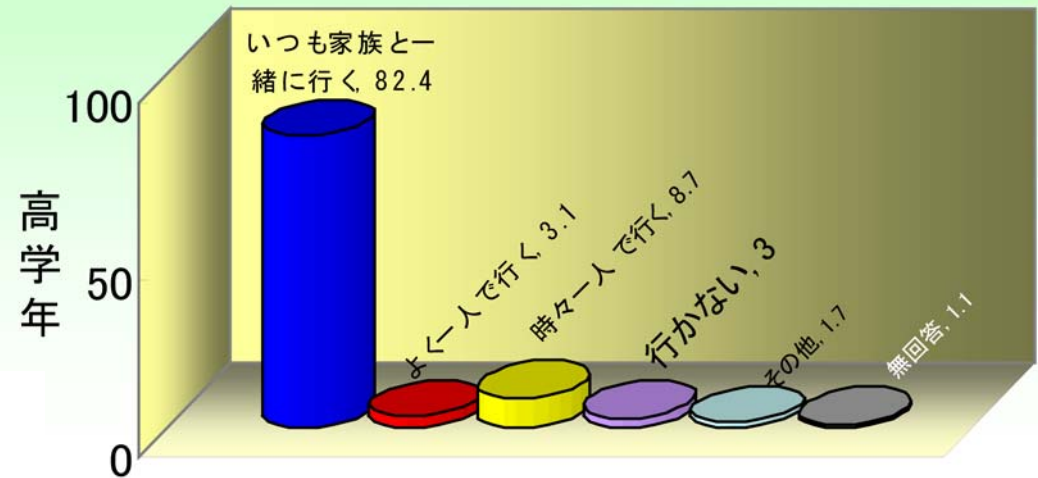
**大勢の人がいる場所は、危険な時に大声をあげても、周りの人に気がついてもらえないということがある**

買い物先・店内で危険を感じたことはあるか



■ある ■ない ■わからない ■無回答

買い物は誰と行くか

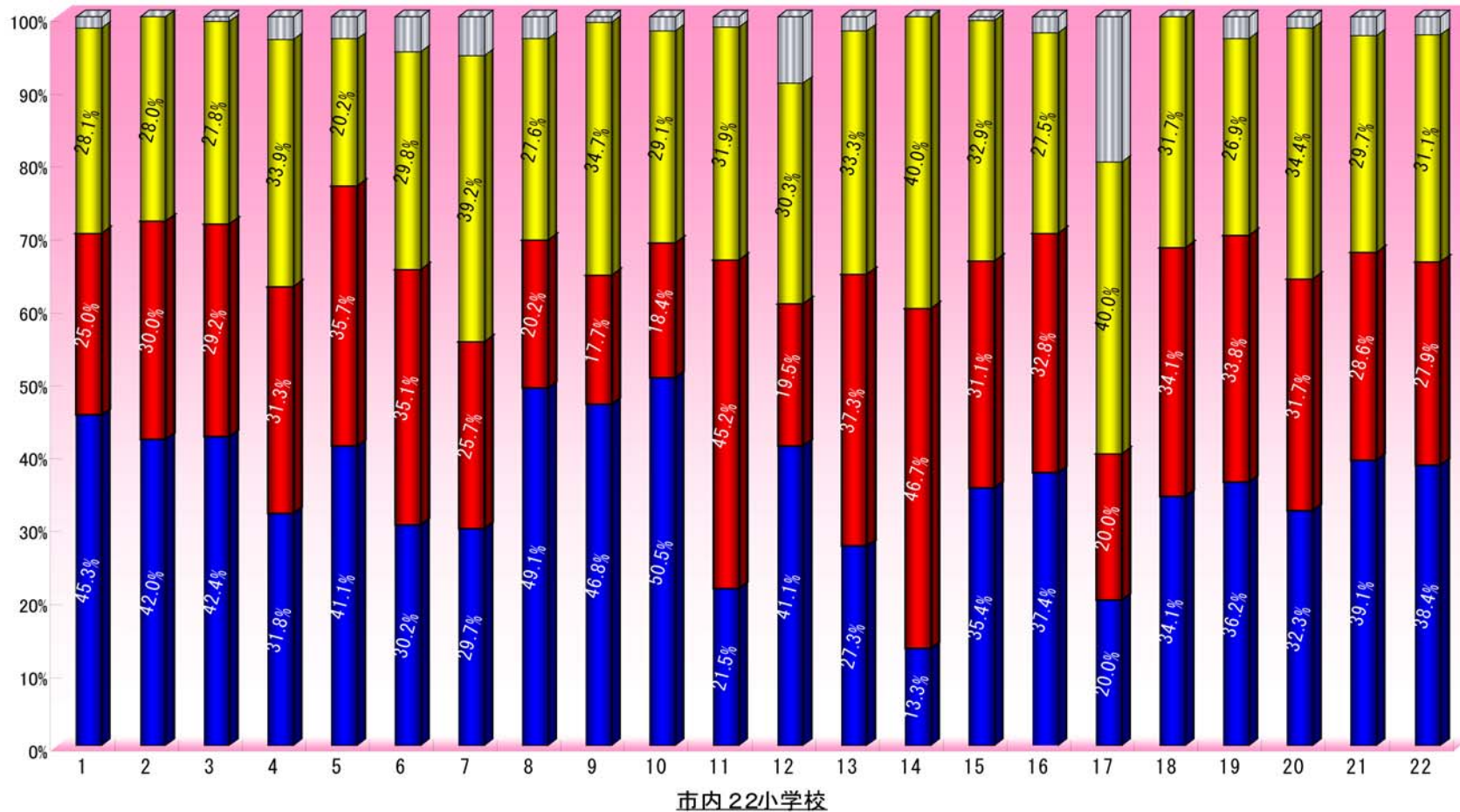


- 買い物へ、[いつも家族と一緒に行く 82.4%]、[よく一人で行く 3.1%]、[時々一人で行く 8.7%]、[行かない 3%]であった。
- 買い物先の店内でキケンを感じたことが [ある 8.6%]、[ない 71.4%]であった。
- ★ 買い物先であるスーパーやお店は決して危険な場所ではないが、大勢の人がいる場所では、キケンな状況であっても、周りの人が気がつかない場合があることを認識しなくてはならない。
- ★ 一人で買い物に行くことがある子どもが1割程度いることから、各家庭において、お店から家までの道のりで キケンな所がないか、逃げ込めることができそうな場所があるか等の検証が必要であると考えます。

■「集団下校をしたいと思いますか」の間に、したいが約4割に上った。

■学校は、1 東、2 西、3 若草、4 緑、5 北光、6 大成、7 清水、8 美園、9 日新、10 糸井、11 北星、12 澄川、13 豊川、14 勇払、15 錦岡、16 沼ノ端、17 樽前、18 植苗、19 明德、20 泉野、21 明野、22 拓勇の順である。

集団登校の賛否



● 集団登校の賛否の結果を、市内22校別に分析した結果、学校により大きな差はないことがわかった。

★ 集団での下校を「学校のきまり」としてほしいと望む父兄もおり、防犯のみならず防災の面からも、近所の子どもたちが集まる場所や近所の情報を共有することができる集団下校が有益であると考える。

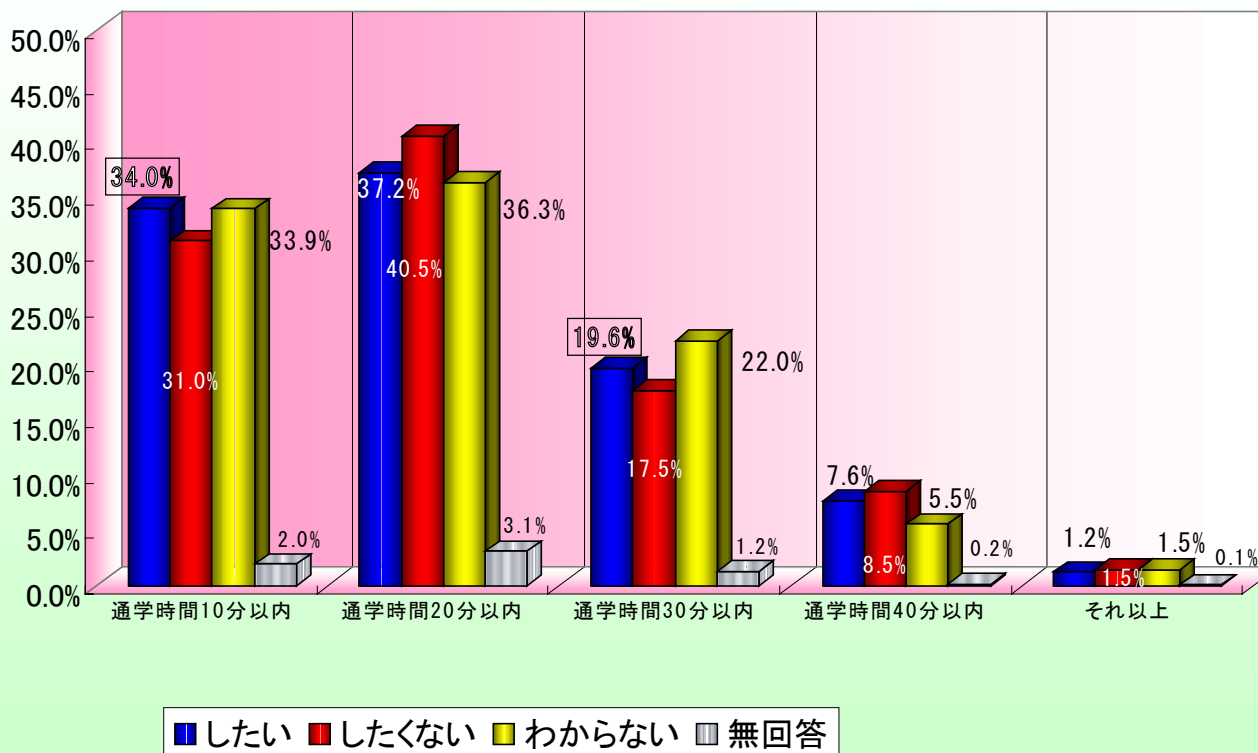
■ そうしたい ■ したくない ■ わからない ■ 無回答



- 「集団登下校をしたい」と「したくない」が一番多かったのが、通学時間10分以上20分以内の子どもであり、約4割を占めた。
- 通学時間10分以内の子どもたちと通学時間20分以上30分以内が、「集団登下校したい」が「したくない」を上回る結果となった。

## 集団下校の賛否と通学時間

近所に住む他の学年の子どもたちとより親しくなることもでき、その親たちとも顔見知りになる「集団登下校」は、時代のニーズと思われる



- 通学時間10分以内で、[集団登下校したい34%]、[したくない31%]、[わからない33.9%]であった。
- 通学時間20分以内で、[集団登下校したい37.2%]、[したくない40.5%]、[わからない36.3%]であり、通学時間30分以内では、[したい19.6%]、[したくない17.5%]、[わからない22%]であった。
- ★「安全」と集団登下校の関連性がわかりにくい設問となり、何のための「集団登下校」かが子どもたちに伝わらなかった。
- ★通学路上にキケンを感じている高学年が20.4%おり（当調査結果）、段階的に集団登下校の回数を増やすことを望む。

# とまこまい・子どもの安全に関する意識調査・中間結果

共催：苫小牧市防犯協会

とまこまい・子どもの安全に関する意識調査

■実施概要■

- ・苫小牧市の小学生低学年用、同高学年用の2種類の調査票を作成し、両調査ともにプライバシー保護のため無記名方式により、平成18年2月27日～3月10日に調査を実施しました。
- ・苫小牧市教育委員会を通じて、市内全小学校に調査票を配布し、学校ごとに調査票を回収しました。
- ・配布数・有効回答数・回収率は次の通りです。

■回収結果■

	配布数	有効回答数	回収率
小学校低学年	4785	3172	66.30%
小学校高学年	4961	3115	62.80%

	低学年			高学年		
	配布数	回収数	回収率	配布数	回収数	回収率
東小学校	149	79	53.0%	159	64	40.3%
西小学校	124	55	44.4%	132	50	37.9%
若草小学校	212	154	72.6%	231	144	62.3%
緑小学校	358	228	63.7%	364	192	52.7%
北光小学校	193	114	59.1%	221	129	58.4%
大成小学校	306	188	61.4%	279	225	80.6%
清水小学校	135	98	72.6%	128	74	57.8%
美園小学校	219	142	64.8%	235	163	69.4%
日新小学校	322	206	64.0%	344	248	72.1%
糸井小学校	119	96	80.7%	121	103	85.1%
北屋小学校	195	146	74.9%	187	135	72.2%
澄川小学校	300	204	68.0%	349	241	69.1%
豊川小学校	258	183	70.9%	289	150	51.9%
勇払小学校	74	35	47.3%	58	30	51.7%
錦岡小学校	296	171	57.8%	354	164	46.3%
沼ノ端小学校	251	144	57.4%	278	131	47.1%
樽前小学校	7	7	100.0%	5	5	100.0%
植苗小学校	37	23	62.2%	41	41	100.0%
明徳小学校	153	85	55.6%	185	130	70.3%
泉野小学校	240	201	83.8%	272	189	69.5%
明野小学校	229	152	66.4%	260	192	73.8%
拓勇小学校	608	461	75.8%	469	315	67.2%
合計	4785	3172	66.30%	4961	3115	62.8%

## 低学年調査

## 高学年調査

問1 学年	
1年生	1043 32.9%
2年生	1069 33.7%
3年生	1026 32.3%
無回答・その他	34 1.1%
合計	3172 100.0%

問1 学年	
4年生	1127 36.3%
5年生	1052 33.9%
6年生	936 29.8%
無回答・無効回答	0 0.0%
合計	3115 100.0%

問2 性別	
男子	1497 47.2%
女子	1626 51.3%
無回答・その他	49 1.5%
合計	3172 100.0%

問2 性別	
男子	1440 46.0%
女子	1659 53.5%
無回答・無効回答	16 0.5%
合計	3115 100.0%

問3 学校までの登校時間	
10分くらい	1136 35.8%
20分くらい	1106 34.9%
30分くらい	567 17.9%
40分くらい	213 6.7%
それ以上	89 2.8%
無回答・その他	61 1.9%
合計	3172 100.0%

問3 通学時間	
10分以内	1029 33.0%
20分以内	1188 38.1%
30分以内	582 18.7%
40分以内	203 6.5%
それ以上	72 2.3%
無回答・無効回答	41 1.3%
合計	3115 100.0%

問4 登校時の人数	
1人	483 15.2%
2～3人	1818 57.3%
4～5人	488 15.4%
決まっていない	298 9.4%
無回答・その他	85 2.7%
合計	3172 100.0%

問4 登校時の人数	
1人	717 23.1%
2～3人	1779 57.3%
4～5人	312 9.8%
それ以上	36 1.1%
決まっていない	225 7.2%
無回答・無効回答	46 1.5%
合計	3115 100.0%

問5 下校時の人数	
1人	289 9.1%
2～3人	1845 58.2%
4～5人	543 17.1%
決まっていない	435 13.7%
無回答・その他	60 1.9%
合計	3172 100.0%

問5 下校時の人数	
1人	453 14.7%
2～3人	1875 60.0%
4～5人	319 10.2%
それ以上	38 1.2%
決まっていない	414 13.4%
無回答・無効回答	16 0.5%
合計	3115 100.0%

## 低学年調査

## 高学年調査

週に3回以上ある	81	2.6%
週に2回以内ある	347	11.1%
病気・悪天候のときのみある	1432	46.0%
ない	1203	38.6%
無回答・無効回答	52	1.7%
合計	3115	100.0%

家族	409	77.3%
近所の人・知人	9	1.7%
友達の家の人	97	18.7%
友達の知り合い	0	0.0%
その他	12	2.3%
合計	527	100.0%

ある	637	20.4%
ない	1644	52.8%
わからない	758	24.3%
無回答・無効回答	76	2.4%
合計	3115	100.0%

人があまりいない歩道	1704	53.7%
大勢の人がいる箇所	87	2.7%
暗い時や場所	1103	34.8%
見通しが悪い箇所	601	18.9%
商店が多い箇所	74	2.3%
交通量が多い箇所	1332	42.0%
踏み切りをわたる時	33	1.0%
森・公園付近	338	10.7%
歩道橋上	169	5.3%
坂道	55	1.7%
飼いや犬がいる家付近	278	8.8%
雑木林	242	7.6%
エレベーター	85	2.7%
集合住宅の階段	160	5.0%
知らない人に話しかけられたり、あいさつされた時	1058	33.4%
工事中の付近	326	10.3%
大型車が駐車してある時	642	20.2%
無回答・その他		26.0%

\*複数回答

人通りが少ない道	1671	53.6%
暗い場所	1578	50.7%
大型店の付近	112	3.6%
公園付近	374	12.0%
踏切	330	10.6%
雑木林や森の付近	737	23.7%
歩道橋	167	5.4%
交通量が多い場所	588	18.9%
公衆トイレ付近	463	14.9%
人が大勢いるところ	114	3.7%
路上に大型車両が駐車してあるとき	570	18.3%
無回答・無効回答	129	4.1%

## 低学年調査

## 高学年調査

問7 「キケン」を感じたときの行動		
逃げる	1240	39.1%
大声を上げる	539	17.0%
SOSの家や商店に助けを求め	1206	38.0%
わからない	110	3.5%
無回答・その他	77	2.4%
合計	3172	100.0%

問10 通学路上で、「キケン」を感じたらどうすると思うか		
逃げる	1690	49.2%
声をあげる	496	14.7%
SOSの家や商店などに助けを求め	989	29.3%
わからない	230	6.7%
* 複数回答あり		

問8 防犯ブザーの所持・携行について		
通学時は必ず携行する	1179	37.2%
時々携行する	232	7.3%
持っているが、通学時携行しない	518	16.3%
持っていない	1181	37.2%
無回答・その他	62	2.0%
合計	3172	100.0%

問11 防犯ブザーの所持・携行について		
通学時は必ず携行する	670	21.5%
時々携行する	193	6.2%
持っているが学校へは携行しない	500	16.1%
持っていない	1735	55.7%
無回答	17	0.5%
合計	3115	100.0%

問9 防犯ブザーの携行箇所について		
ランドセル(かばん)の横	820	25.9%
ランドセル(かばん)の前	269	8.5%
首にぶら下げ	238	7.5%
ランドセル(かばん)の中	121	3.8%
その他(ポケット)	143	4.5%
無回答・その他	1581	49.8%
合計	3172	100.0%

問12 防犯ブザーの携行箇所について(問11の所持者のみ回答)		
ランドセル(かばん)の横	387	44.8%
ランドセル(かばん)の前	111	12.9%
ランドセル(かばん)の中	250	29.0%
首にぶら下げ	104	12.1%
その他(ポケット)	101	11.7%
* 複数回答あり		

問11 通学路上の「子どもSOS」の家について		
ある	1615	50.9%
ない	402	12.7%
わからない	963	30.4%
無回答・その他	192	6.1%
合計	3172	100.0%

問13 通学路上の「子どもSOSの家」について		
ある	1642	52.7%
ない	395	12.7%
わからない	1031	33.1%
無回答・無効回答	47	1.5%
合計	3115	100.0%

問12 「子どもSOSの家」に助けを求めたこと		
ある	101	3.2%
ない	2842	89.6%
無回答・その他	229	7.2%
合計	3172	100.0%

問14 「子どもSOSの家」に助けを求めたこと		
ある	15	0.5%
ない	3024	97.1%
無回答・無効回答	76	2.4%
合計	3115	100.0%

問10 携帯電話の所持		
持っている	90	2.8%
持っていない	2873	90.6%
持っているが、学校へは携帯しない	113	3.6%
無回答・その他	96	3.0%
合計	3172	100.0%

問15 通学時の防犯用品携行について		
GPS付ランドセル	12	0.4%
ココロコム	4	0.1%
まもるつち	10	0.3%
ジュニアケータイ	20	0.6%
ピピットフォン	11	0.4%
その他	2	0.1%
無回答	3056	98.1%
合計	3115	100.0%

## 低学年調査

## 高学年調査

子どもSOSの家	1683	53.1%
自動販売機	1721	54.3%
交番	204	6.4%
コンビニ	1092	34.4%
公園	1810	57.1%
公衆電話	772	24.3%
銀行	491	15.5%
美容店	908	28.6%
理容店	894	28.2%
病院・医院	695	21.9%
その他商店	1291	40.7%
信号機	2542	80.1%
線路	50	1.6%
踏切	12	0.4%
空家	505	15.9%
高い塀	412	13.0%
歩道橋	649	20.5%
森	107	3.4%
川	643	20.3%
海	16	0.5%
用水路	64	2.0%
国道	521	16.4%
中学校	400	12.6%
高校	79	2.5%
幼稚園	469	14.8%
ホテル	35	1.1%
駅	58	1.8%
重機置き場	307	9.7%
ゴミの散乱箇所	884	27.9%

\* 複数回答

子どもSOSの家	1736	55.7%
コンビニ	1040	33.4%
公衆電話	881	28.3%
レンタルビデオ店	71	2.3%
大型スーパー	127	4.1%
駅	65	2.1%
公園	1701	54.6%
スーパーマーケット	296	9.5%
パチンコ店	88	2.8%
理容室・美容室	976	31.3%
商店	605	19.4%
銀行	385	12.4%
病院	498	16.0%
工場	152	4.9%
ビル	85	2.7%
信号機	2381	76.4%
歩道橋	583	18.7%
線路	57	1.8%
踏切	25	0.8%
空家	570	18.3%
自動販売機	1528	49.1%
廃墟	97	3.1%
用水路	102	3.3%
川	62	2.0%
森	680	21.8%
海	189	6.1%
国道	19	0.6%
重機置き場	81	2.6%
資材置き場	148	4.8%
大型駐車場	467	15.0%
交番	158	5.1%
空き地	1038	33.3%
高い塀	213	6.8%
ゴミの散乱箇所	438	14.1%
他の学校	144	4.6%
立ち入り禁止区域	160	5.1%
ゲームセンター	9	0.3%

\* 複数回答

毎日使用する	170	5.5%
時々ある	47	1.5%
ない	2697	86.6%
無回答・無効回答	201	6.5%
合計	3115	100.0%

毎日一人で乗る	88	40.6%
時々一人で乗る	106	48.8%
一人では乗らない	47	21.7%

\* 無効回答 24

## 低学年調査

\* 低学年の問 14 は、高学年の問 38 と併記

## 高学年調査

問19 通学時の自宅の鍵の携行について いつも持っていく	1573	50.5%
時々持っていく	665	21.3%
持っていない	777	24.9%
無回答・無効回答	100	3.2%
合計	3115	100.0%

問20 鍵を携行する理由(問19で持っていく 答えた人のみ)		
下校時、家人不在	578	25.8%
下校時、時々家人不在	1573	70.3%
緊急時用等その他の理由	82	3.7%
無回答・無効回答	5	0.2%
合計	2238	100.0%

問15 自宅住所と電話番号		
両方覚えていく	2094	66.0%
住所のみ	182	5.7%
電話番号のみ	466	14.7%
わからない	257	8.1%
無回答・その他	173	5.5%
合計	3172	100.0%

問21 自宅の住所と電話番号について 両方とも暗記している	2739	87.9%
住所のみわかる	73	2.3%
電話番号のみわかる	126	4.0%
わからない	76	2.4%
無回答・無効回答	101	3.2%
合計	3115	100.0%

問22 父母の緊急連絡先(携帯電話番号・職場 の電話番号)について 暗記している	1808	58.0%
わからない	789	25.3%
覚えていないが、書いてあるもの を持っている	392	12.6%
無回答・無効回答	126	4.0%
合計	3115	100.0%

問23 子どもだけの留守番について 毎日ある	489	15.7%
時々ある	2195	70.5%
ない	249	8.0%
無回答・無効回答	182	5.8%
合計	3115	100.0%

問24 子どもだけで留守番している際の対応に ついて ※玄関のチャイムがなく荷物が届いた場合、どのよう にします(しています)か？		
カメラ・インターフォンで確認し、玄 関を開けて荷物を受け取る	1085	40.4%
インターフォン(または、チャイムを したまま)玄関を少し開け、家人が 留守であることを告げ、荷物は受け インターフォンにも、玄関にも出ない で無視する	604	22.5%
インターフォンにも、玄関にも出ない で無視する	990	36.9%
無回答・無効回答	5	0.2%
合計	2684	100.0%

問 25 近隣住民について		
名前も顔もわかる	918	29.5%
名前(又は顔)のみ	570	18.3%
2～3件はわかる	1058	34.0%
わからない	454	14.6%
無回答	115	3.7%
合計	3115	100.0%

問 26 自宅以外でよく遊ぶ場所		
公園	939	30.1%
友達の家	1885	60.5%
その他	249	8.0%
無回答	42	1.3%
合計	3115	100.0%

問 27 一人で公園へ行く?		
いつも一人で	56	1.8%
時々一人で	612	19.6%
いつも友達と	1514	48.6%
公園で遊ばない・その他	791	25.4%
無回答	142	4.6%
合計	3115	100.0%

問 28 公園のトイレの使用頻度		
いつも使う	38	1.2%
時々使う	821	26.4%
使わない	2157	69.2%
無回答	99	3.2%
合計	3115	100.0%

問 29 よく遊ぶ友人宅への歩行距離		
10分以下	1884	60.5%
20分以下	866	27.8%
それ以上	206	6.6%
歩いていけない範囲	45	1.4%
無回答	114	3.7%
合計	3115	100.0%

問 30 友人宅や公園への路上での危険箇所の有無		
ある	568	18.2%
ない	1959	62.9%
わからない	478	15.3%
無回答	110	3.5%
合計	3115	100.0%



問31 習い事(少年団活動含む)をしている		
している	2112	67.8%
していない	915	29.4%
無回答	88	2.8%
合計	3115	100.0%

問32-1 学校帰りに直接行く習い事		
ある	594	28.1%
ない	1518	71.9%
合計	2112	100.0%

\*無効回答 18

問32-2 その習い事は誰と行きますか		
一人	566	27.1%
友達と	564	27.0%
家族に送ってもらう	961	46.0%

\*複数回答あり

問32-3 その習い事は誰と帰りますか		
一人	302	14.4%
友達と	407	19.4%
家族に迎えに来てもらう	1334	63.6%
その他	55	2.6%

\*複数回答あり

問33 普段、買い物は誰と行くか		
親・家族・親戚	2566	82.4%
よく一人で行く	97	3.1%
時々一人で行く	271	8.7%
行かない	92	3.0%
その他	54	1.7%
無回答	35	1.1%
合計	3115	100.0%

問34 スーパー・店内で危険を感じるか		
ある	253	8.6%
ない	2094	71.4%
わからない	390	13.3%
無回答	197	6.7%
合計	2934	100.0%

問35 危険な目に遭った場合や、怖い思いをしたことなどを相談する相手の有無		
いる	2498	80.2%
いない	134	4.3%
わからない	365	11.7%
無回答	118	3.8%
合計	3115	100.0%

## 低学年調査

## 高学年調査

問36 誰に危険な目に遭った場合や、怖い思いをしたことなどを相談するか		
親・兄弟	2270	90.9%
友達	266	10.6%
学校の先生	194	7.8%
その他	25	1.0%

\* 複数回答あり

問37 問36の相談相手について、その理由		
他の人に言いつらい	133	28.9%
相談相手がいないから	37	8.0%
心配を掛けたくない	89	19.3%
叱られるかもしれないから	30	6.5%
わからない	123	26.7%
その他	39	8.5%
無回答	9	2.0%
合計	460	100.0%

問14 家庭での「キケン」についての話題		
いつも話す	471	14.8%
時々話す	1438	45.3%
あまり話さない	525	16.6%
全然話さない	380	12.0%
わからない	258	8.1%
無回答・その他	100	3.2%
合計	3172	100.0%

問38 「危険」「怖い」についての家族との対話		
いつも話す	308	9.9%
時々話す	1094	35.1%
あまり話さない	881	28.3%
ぜんぜん話さない	746	23.9%
無回答	86	2.8%
合計	3115	100.0%

問40 集団登下校への賛否		
そうしたい	1162	37.3%
したくない	907	29.1%
わからない	958	30.8%
無回答	88	2.8%
合計	3115	100.0%

問39 防犯パトロールや街頭指導の人達に会い さつをするか		
いつもする	1628	52.3%
知っている人ならする	243	7.8%
時々する	898	28.8%
しない	139	4.5%
会ったことがない	125	4.0%
無回答	82	2.6%
合計	3115	100.0%

問16 気をつけなくてもいいと思われる大人		
父母の友人や知人	1797	56.7%
友達の親や知人	1196	37.7%
近所の人	935	29.5%
家に来たことがある人	735	23.2%
学校で会ったことがある人	621	19.6%

\* 複数回答

問41 「知らない人の車に乗ってはいけない」と言う場合の「知らない人」とは？		
父母の友達や知り合い	1069	34.3%
友達の家の人やその知り合い	1058	34.0%
近所や町内会の人	2158	69.3%
家に来たことがある人	1853	59.5%
学校で会ったことがある人	1969	63.2%
その他回答	358	11.5%
無回答・無効回答	45	1.4%

\* 複数回答